

since 1920

運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社
東京都荒川区西日暮里3-6-10
佐々木ビル3F 〒116-0013
TEL03-5685-0035
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2
〒541-0048 TEL06-6209-3261
発行人・野田裕之
火・金発行(祝日を除く)
3,600円/月(送料・税込)

2021年

9月7日(火)

第17424号



先端のニーズに応える技術力で

輸送社会の未来を開く!

日本トレクス株式会社

コロナ機に事業再構築目指す 保管・整備・ECなどに挑戦

事業再構築補助金の主な採択案件

事業者名(地域)	事業計画の概要
ティーアール・ネット サービス(札幌)	生鮮品の長期保存の付加価値を付けた 自社倉庫を取得し、配送・保管・流通 加工のワンストップサービスを提供
アサノ通運(大船渡市)	米国型店舗物流へ参入し、北海道から 本州への帰り便を獲得
日本クオリティー センター(千葉市)	東南アジアのECモールや国内大手物 流企業と連携し、越境EC物流センタ ーを立ち上げ
Dream KEI (東京)	青果物配送のノウハウを生かし、飲食 店向け青果物冷凍加工販売を行う
TRUTH LOGI STICS(東京)	生産国の見直し機運の高まりから、国 際物流マッチングPFを立ち上げ
東京ロジステック小林 徳市運送(東京)	精密機器物流で培った品質を活用し、 医療機器物流ソリューション提供
名備運輸(小牧市)	ドローンによる農薬散布、肥料散布を 中心に測量、構造物点検分野に参入
日本インパクト(京都 市)	リチウムイオン蓄電池の軽加工・保管 運搬を可能とする大型危険物倉庫建設
物研(堺市)	アパレル3棟の1棟を省エネ型冷蔵・ 冷凍倉庫に改修し食品EC提供
荻野運送(丹波市)	北近畿唯一の24時間稼働中継物流セン ター開設し、短納期・在庫圧縮に貢献
ヒトミキャリアライン (岡山市)	食品運送の強みを生かし、新鮮総菜を 製造し、混載で県内スーパーに販売
みなと海運(尾道市)	同業他社と協力してバイオマス電力の 原料の木材チップの荷揚げ、保管、輸 送、空コンテナの回収・返却を行う

中小企業庁は、事業再構築補助金の公募を行い、応募があった2万800社のうち、9336社を採択した。トラック運送企業も多く含まれており、保管・梱包などへの領域拡大やコロナで活況を呈すEC物流への参入などが目立っている。

事業再構築補助金は、コロナの影響が長期化し、当面の需要や売り上げの回復が期待しづらい中、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の社会変化に対応する中小企業を支援し、新分野の展開、事業展開、業種展開、業態

展開または事業再編など思い切った事業再構築に意欲を有する企業の挑戦を促す。

前年度の補正予算から拠出し、前年度も実施したが、今回から最低賃金近傍で雇用している従業

員が一定割合(10%以上)の事業者は補助率を4分の3(通常枠は3分の2)に引き上げ、従業員数が50人を超える企業は補助上限を最大8000万円(従来は6000万円)に引き上げるなどの要件緩和を行った。

他領域への進出については、整備業、レンタル収納、洗浄・塗装、ピッキング・梱包代行、タイヤ交換、小型宅配、大型レッカー事業あるいは食品販売、飲食店経営、ラ

ンドリー経営などさまざまな。例えば、青果物配送のノウハウを生かし冷凍加工販売を手がけたり、食品運送の強みを生かして総菜を製造・販売・配送(表参照)するなどのほか、倉庫管理システム(WMS)に対応したシステムを導入して荷主への効率的な在庫管理やピッキング・梱包提案を行う、荷主から預かった製

品を洗浄・メンテナンスする、軽貨物運送の許可を新たに取得してネット販売家具の個人宅への配送を行う、輸出に特化した物流ノウハウがあるが輸出が減少していることから、輸入貨物の保税蔵置や通関業務に進出するなどの取り組みがみられた。

事業再構築促進へ

成長戦略会議 秋に向け課題を整理

政府は2日、成長戦略会議を開き、秋の成長戦略改定に向けた検討課題を整理した。

基本的考え方として、労働参加率と労働生産性の向上が不可欠であり、労働生産性というコストが注目されがちだが、労働生産性は「売値からコストを差し引く」を基礎としており、コストが

低くても売値が低ければ生産性は低くなること、製造コストの何倍の価格で販売できたかを示すマ

ークアップ率は、日本は1.3倍にとどまってお

送を含む物流企業からは、トラック運送だけでなく倉庫を新設して地域に密着した新規事業拡大を目指すところが多

く、特に越境EC専門の物流センターを立ち上げて商品の入庫から在庫管理、包装・発送作業を新たに

行っている。トラック運送を含む物流企業からは、トラック運送だけでなく倉庫を新設して地域に密着した新規事業拡大を目指すところが多

く、特に越境EC専門の物流センターを立ち上げて商品の入庫から在庫管理、包装・発送作業を新たに

行っている。トラック運送を含む物流企業からは、トラック運送だけでなく倉庫を新設して地域に密着した新規事業拡大を目指すところが多

JILS 大賞 日本気象協会など2件 21年度 ロジステイクス大賞

日本ロジステイクスシステム協会(JILS)は、ロジステイクス推進に向けて優れた実績をあげた企業を表彰する「2021年度ロジステイクス大賞」受賞6事例(大賞2例、特別賞4例)を決定。大賞には、「日本気象協会」と「プラスオートメーション/富士ロジテック・ネクスト」の事例が選ばれた。

送影響リスクの早期把握および効率的な輸送計画作成支援「ドライバーの安全と円滑な物流確保のための新たな取り組み」。

「AI画像認識技術を用いた自動検品システム」の導入による検品作業の改善「自動化によるリファービッシュ業務高度化の取り組み」。

「混載ケース積み付けの自動化実現」。

「AI画像認識技術を用いた自動検品システム」の導入による検品作業の改善「自動化によるリファービッシュ業務高度化の取り組み」。

自動包装システムが受賞

木下賞 Xフロンティアに導入

日本包装技術協会は、第45回木下賞の受賞者を決定。物流関係では、佐川グローバルロジステイクスなど4社の「自動包装システム」が受賞した。

次世代大型大規模物流センター「Xフロンティア」で展開する「シームレスECプラットフォーム」

「自動包装システム」が受賞した。

「自動包装システム」が受賞した。

「自動包装システム」が受賞した。

「自動包装システム」が受賞した。

「自動包装システム」が受賞した。



Carton Wrap

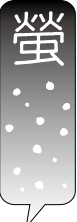
は約70%省人化され、梱包サイズを最適化することによって約33%の容積削減効果を実現し、これによりトラックの積載効率を向上し輸送回数を削減させることで、CO₂排出量削減にもつながっている。

「宅配便8.4%増 DM便4.1%減」

ヤマト運輸の2021年7月の小口貨物取扱実績は、宅配便合計2億908万5153個(前年同月比8.4%増)、クロネコDM便6322万5515冊(同4.1%増)。

万6688個(同5.2%増)だった。これにより2021年度の累計(21年4~7月)は、宅配便合計7億4860万2061個(前年同月比9.4%増)、うち宅急便・宅急便コンパクト・EAY6億2220万5409個(同3.7%増)、ネコポス1億2639万6652個(同5.7%増)、クロネコDM便2億7611万1365冊(同6.2%増)、合計で10億247万7764個(同5.9%増)。小口貨物全体の取り扱い量は2億7231

S(21・9・7)



2024年度から流通が始まる新1万円札の印刷が開始された。紙幣の刷新は偽造防止を目的としてほぼ20年ごとに行われている。今回は、肖像が立体的に動いて見える最先端のホログラムを使い、透かしも精細な技術が投入された。◆新札への切り替えにより、ATMや自動券売機の改修・買い替えなどの直接波及額1.6兆円、関連分野への生産誘発額3.5兆円、付加価値の誘発額として1.3兆円の特需が見込まれるという。コロナ禍から製造業が立ち直るための起爆剤になる期待もかかっている。しかし、これだけの最先端技術は海外に輸出される見込みはない。紙幣印刷技術の劣っている国々は、偽札に対抗するために高